



高輪だより

平成28年9月号

港区立高輪幼稚園
園長 新山 裕之

<チームの力で勝ち取ったメダル>

この夏の一番の話題は、やはりオリンピックでしょう。日本人選手の活躍に、寝不足になりながらテレビ画面に声援を送った方も多かったことでしょう。メダルを獲得した選手たちはもちろん、すべての選手の精一杯の健闘に敬意を表します。特に最後まで諦めず、力を出し尽くして金メダルを勝ち取った女子レスリングやバドミントンの試合が印象に残りました。



高輪ガーデンの野菜もグングン育っています

<多くの人たちの思いが詰まった大会>

高輪幼稚園でもご協力いただいた熊本地震の支援金は、国公幼と全幼Pを合わせて1500万円を超え、7月15日、両会の会長によって熊本と大分の幼稚園に届けられました。そして8月初め、私は副会長として熊本で行われた全幼Pの全国大会に参加してきました。視察した熊本城は、石垣や櫓が無残に崩れており、絶句しました。そんな状況の中でも、参加者は500人を超え、3園のPTAからの提言、感動的な講演会などを通してたくさん勉強させてもらいました。また8月中旬には、国公幼の研究協議会にも参加してきました。いずれも、大会を運営する幼稚園やPTAの実行委員会の方々の努力のお陰で、たくさんの学びと情報交流ができ、頭が下がる思いでした。



全幼P熊本大会では特色ある活動が報告されました

<人と人とのつながりこそ>

オリンピックも研究大会も、実際に行う時間はわずかです。しかし、その日に向けて多くの人たちが準備をします。オリンピック選手は厳しい練習を積み、運営スタッフは選手が最高の力を発揮できるよう、参加者が気持ちよく参加できるように心を砕きます。多くのメダリストが、たくさんの人に支えられ、応援してもらったことに感謝する言葉を残していることが印象的でした。このような大会は、人と人をつなぐ意味があると改めて感じます。私たちも、子どもたちの笑顔のために力を合わせていきましょう。2学期もどうぞよろしくお願いします。



視察で訪れた熊本城の状況は…



国公幼の研究協議会は1200人以上の参加者を迎え、沖縄の先生たちの運営の尽力に感謝！

高輪の 二十四節気

・・・長月(ながつき)・・・

白露(7日)・・・そろそろ秋の空気に入れ替わります・・・

秋分(22日)・・・暑さ寒さも彼岸まで、といいますが・・・

今年も園庭にセミが這い出してきた穴がたくさん開いています。この夏、前半は酷暑でしたが、このところ朝晩は涼しい風が吹き始め、お盆を過ぎると草むらから秋の虫の声が聞こえるようになります。この虫の音で季節の移り変わりを感じられる日本人の感性の素晴らしさ…、大切にしたいですね。



9月10日は、人材育成のプロ、リクルートマネジメントの桑原さんによる講演会「社会で求められる力の基礎は幼稚園で育つ」もあります。乞うご期待！